

ア 県立少年自然の家、県海浜青年の家の整備に努める。

④ 公立視聴覚ライブラリーの設置促進

ア 視聴覚ライブラリー未設置市町村の解消について指導に当たる。

2 市町村社会教育主事等研修会

(1) 趣 旨

市町村社会教育主事、公民館主事に社会教育に関する専門的知識・技術の習得を図り、市町村における社会教育行政担当者としての資質の向上を図る。

(2) 期日、会場、参加者数

- ① 期 日 昭和58年9月6日～9日 3泊4日
- ② 会 場 県婦人会館
- ③ 参 加 者 43名

(3) 講師・助言者

- ① 講 師
 - 東北大学教育学部 教授 塚 本 哲 人
 - 福島県明るい選挙推進協議会長 今 井 豊 蔵
- ② 助 言 者
 - 伊達郡桑折町公民館長 菱 沼 正 人
 - 福島市清水公民館長 瓶 子 保 典
 - 耶麻郡磐梯町教育委員会 加 藤 昭 一
 - 社会教育主事
 - 県社会教育課員、教育事務所員

(4) 参 加 者

市町村社会教育主事、公民館主事（4年以上勤務）

(5) 内 容

- ① 現代社会と青少年問題
- ② 社会教育活動と選挙啓発
- ③ 青少年の団体活動と社会参加 ④ 社会教育行政と社会教育振興計画
- ⑤ 地域に果たす社会体育の役割と今後の推進方策
- ⑥ 青少年の健全育成を推進するための公民館事業の計画
- ⑦ 青少年の健全育成と学社連携

3 福島県市町村社会教育委員研究集会

(1) 趣 旨

市町村社会教育委員の役割および活動上の諸問題について研究協議を行い、市町村の社会教育の振興充実に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会、会津若松市教育委員会
福島県市町村社会教育委員連絡協議会

(3) 期日、会場、参加者数

- ① 期 日 昭和58年10月7日～8日
- ② 会 場 会津若松市文化福祉センター
- ③ 参 加 者 183名

(4) 参 加 対 象

市町村社会教育委員及び市町村教育委員会事務局職員

(5) 講師、助言者

- ① 講 師
 - 浜松医科大学 教授 大 原 健 士 郎
- ② 助 言 者
 - 市町村社会教育委員連絡協議会長 今 井 豊 蔵

会津若松市教育委員会社会教育課長 佐 藤 誠 次
県教育庁社会教育課員、教育事務所員

(6) 内 容

- ① 研究課題
 - 「住民の高度化、多様化する学習要求に対応するための社会教育委員の役割を考える」
- ② 講 演
 - 「現代社会と青少年の精神衛生」
- ③ 分散会による研究協議
 - 「青少年の健全育成を推進するため、市町村社会教育委員はどのように対応すべきか」

4 生涯学習促進研究協議会・研究大会

(1) 趣 旨

青年・成人・婦人各層の学習に対する望ましい対応についての研究を推進し、体系的学習の促進を図るとともに、生涯教育体制の確立に資する。

(2) 期日、会場、参加者数

	期 日	方 部	会 場	参加者数
地区協議会	9月22日	中通り方部	大 玉 村 公 民 館	128名
	9月20日	会津方部	下 郷 町 公 民 館	150名
	9月29日	浜通り方部	富 岡 町 公 民 館	233名
県大会	11月22日	県中地区	郡山市視聴覚センター	170名

(3) 講 師

東北大学教育学部 教授 塚 本 哲 人
福島大学教育学部 教授 堀 口 知 明
大沼郡昭和村 企画課長 菅 家 長 平
小高町社会教育指導員 吉 津 守 雄

(4) 助 言 者

会場地教育委員会事務局職員、県教育庁社会教育課員、教育事務所員、社会教育関係団体代表者、小・中・高校教育関係者

(5) 参 加 者

市町村長、同議会議員、同教育委員、社会教育委員、社会教育関係職員、社会教育関係団体代表者、小・中・高校学校教育関係者

(6) 研 究 内 容

- ① 研究主題
 - 「生涯教育の理念に立つ学習社会を形成するために、市町村における行政機関ならびに地域住民は、どのように対応すればよいか」
- ② 部会テーマ
 - ア 行政部会
 - 「豊かな学習社会を形成するために、市町村における生涯教育体制づくりをどのように進めたらよいか」
 - イ 学習者部会
 - 「住民が豊かな学習活動をすすめるために、学習の場と機会をどのように活用したらよいか」